



辺野古埋め立て工事の影響で、ジュゴンが大浦湾に姿を見せなくなって久しいが、2019年3月には、今帰仁村沖でジュゴンの死骸が漂着しているのが見つかっている。それを受けて、辺野古の浜を守る会は、「5回忌ジュゴン追悼の会」を開いている。参加者は、祭壇に手を合わせながら「また戻ってきて」「待っているよ」と声をかけたと言う。その声が、ジュゴンに届いているかのように、沖縄県は、4月6日、ジュゴンの生息状況などをまとめた2022年度の報告書を発表した。

以前から、ジュゴンの食み跡や鳴き声、目視情報は多々あり、ジュゴンのふんが見つかったという情報も流れていたが、今回は、県がふんを分析してジュゴンの DNA が検出され、改めてジュゴンが沖縄本島や先島諸島周辺海域で生息していることが明らかになった。

ジュゴンは「希望」！

ジュゴンのふんは伊良部島と名護市久志で見つかった。久志は大浦湾の南西にあり、宜野座村松田出身の父が「久志は、ジュゴンの鳴き声がよく聞こえた地域で、鳴き声が赤ちゃんの泣き声に似ているから、あかんぐわいゆ（赤ちゃんの鳴き声の魚の意）と言う」と話していた。

2020年にジュゴンの鳴き声が確認されて、知事が辺野古新基地建設の工事中止を求めたが受け入れられなかった。「今回は鳴き声よりも動かぬ証拠であり、国に工事の中止を求めて欲しい」と、日本自然保護協会の安部真理子さんは語っている。

去年は「復帰 50 年」で、県民の多くが「あの復帰とは何だったのか」と煩悶しながら過ごしてきたと思う。沖縄は相変わらず、過重な米軍基地と、米軍、軍属の事件や事故があり、環境が汚染し、民意を無視され、不公平な司法の判断に苦しめられて、「台湾有事」と戦争の危機が追い打ちをかけて、琉球弧の島々に自衛隊基地が連なっている。

そんな中、海の豊かさを表現した安和と瀬嵩の「ホープスポット」の看板に、心安らぎ、ジュゴンが元気で沖縄周辺で生きていると思うだけで希望が湧いてくる。 (首都圏 宮城韶子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



4.25 辺野古・大浦湾海上アピール(4面)。
(写真提供: 辺野古ぶるーHYOGO)



東京アースデイにて（5面）。
（写真提供：関本幸）

情 勢（事務局）

辺野古・大浦湾（Hope Spot）を海洋保護区に



2000 年 IUCN（国際自然保護連合）世界自然保護会議が日米両政府にジュゴン保護を求める勧告決議を採択して以降、日本政府は「沖縄ジュゴンは種の保存法の国内希少野生動植物種に選定される種に該当する」としてきました。その後、「種の保存法に指定を」「基地ではなくジュゴン保護区を」求める運動の高まりに、「ジュゴンの生態調査が不足、保護施策がないので無理」、「2030 年までには 600 種を追加指定する。（当時 90 種）沖縄ジュゴンも検討している」と曖昧な態度に終始してきました。2018 年埋め立て工事の開始以降、確認されていたジュゴン 3 頭のうち、1 頭が死亡、2 頭が行方不明になっています。2019 年 9 月に NGO の招請で IUCN が来日。ジュゴンの調査を環境省、沖縄県に求め、新基地建設工事がジュゴンの餌場、海草藻場に影響を与えると警告しました。

その後、沖縄本島古宇利島や宮古島周辺でジュゴンの食み跡などが発見、昨年 7 月には辺野古付近の久志沿岸でジュゴンの糞が発見されました。ジュゴンの生息とジュゴンの餌場である辺野古大浦湾の重要性が再認識されています。大浦湾は 262 種の絶滅危惧種を含む 5334 種が生息する生物多様性豊かな海域で、ジュゴンはその象徴種なのです。昨年 12 月、生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）は「生物多様性の損失をくい止め、回復傾向へ向かわせる」ために「保護区として確保すべき最低ラインである 30%の陸域、内陸水

域、海域を目標とする」。とりわけ「重要な地域の損失をほぼゼロにする」ことを決定しました。日本政府は COP15 をふまえて「生物多様性国家戦略」を決定しましたが、2014 年 3 月環境省が決めた「生物多様性の観点から重要度の高い海域（沿岸域 270 か所、沖合表層域 20 か所、沖合海底域 31 か所）」を横に置いて、これから「検討し整理する」としています。沿岸域 270 か所の一つに含まれている大浦湾については「（外務・防衛省との）利害関係を調整する」「一律には扱わない」と居直っています。辺野古新基地建設に配慮しているのです。

2030 年までに「重要な地（海）域の損失をほぼゼロにする」ことが COP15 の決定です。世界 147 海域の Hope Spot を認定した環境 NGO ミッションブルーや、ジュゴン訴訟公をともに闘った米国 NGO 生物多様性センター、ジュゴンの餌場を守れと警告している IUCN と連携して、日本政府に「生物多様性条約 COP15 の決定を守れ！辺野古大浦湾を海洋保護区に！」と求める闘いを広げましょう。



トマホークは日本の戦場化をもたらす

23 年度予算で米国から購入したトマホークは 400 発で 2113 億円。物価高で生活苦に追われている庶民にとっては許せない金額。

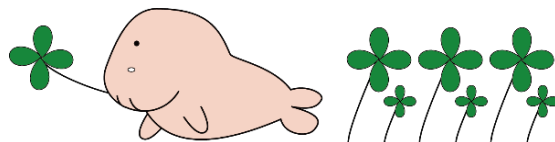
3 月 1 日参議院予算委員会で辻元清美議員はトマホークの使い道について追及、バイデン米大統領におもねる岸田内閣の姿を明らかにしました。トマホークは 1600 キロの射程で、民間ジェット機並みの速度。東京・那覇間は 1600 キロで、トマホークは 1 時間 45 分かかります。非常に遅い速度なので、米軍はイラク戦争時に、イラクが迎撃体制を敷く前にトマホークを 250 発一斉に発射しました（25%が迎撃）。

専守防衛に制約される浜田防衛大臣は「（米国のような使い方は）我々の目的にはそぐわない」と本音を漏らす。「どのように使うのか」とのさらなる追及に「侵攻してくる艦隊や上陸部隊を阻止、排除する一つの手段」。「上陸しようとする艦艇や部隊には（トマホークで）対応する」と答えたものの、「上陸した部隊に

ついてはどうするかは答えられない」…。イージス艦からトマホークで上陸部隊を攻撃するのでしょうか？

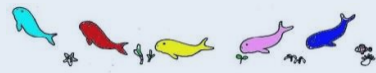
2026 年トマホークの導入に向けて、海上自衛隊のイージス艦 8 隻すべてを 2027 年までに「垂直ミサイル発射システム」に改修、搭載可能にするという（琉球新報 3 月 25 日）。イージス艦は現在、横須賀基地（神奈川県）、舞鶴基地（京都府）に各 2 隻、佐世保基地（長崎県）には 4 隻。沖縄をはじめこれらの基地は攻撃対象となり、「日本の戦場化」をもたらすにちがいない。

（事務局 蛭川義章）



辺野古・大浦湾の海とやんばるの森を守る取り組み

国際担当からの報告



ニュースレター3月号から2ヶ月が経った。その間、3月後半には World Heritage Watch(WHW)が主催する NGO-ユネスコ・フォーラムがあり、そこで私は世界遺産センターや IUCN と直接、世界自然遺産やんばるの森の問題について議論することができた。また4月には SDCC の防衛省と環境省との要請交渉があり、今後の取り組みにつながる貴重な情報が得られた。以下、この2ヶ月間の取り組みと、現在計画中の取り組みについて紹介したい。

やんばるの森を守る

まず3月29日に開催された NGO-ユネスコ・フォーラムで確認できたことを2点報告する。1点目は、昨年ロシアのウクライナ侵攻により開催できなかったユネスコ世界遺産会議が、今年の9月にサウジアラビアのリヤドで開催されること。これはやんばるの森が世界自然遺産に登録されて初めて行われる世界遺産会議となる。

2点目は、私たちが提起し続けてきた米軍北部訓練場の訓練の影響や世界遺産地で発見され続けている米軍廃棄物の問題について、ユネスコ世界遺産センターと IUCN はきちんと情報を受け取っているということが確認できたことだ。

この状況は、今年の世界遺産会議において、初めて世界自然遺産としてのやんばるの森の問題が議論される可能性があることを示している。NGOとしては、ぜひ世界遺産会議で議論されるように、追加の報告文書等の提出を通してユネスコや IUCN に働きかけていく。同時に WHW は、世界遺産会議と並行してリヤド現地で NGO-ユネスコ会議を開催することを表明しており、その会議への参加も模索していきたい。

次にこの国際的動きを踏まえて計画している沖縄防衛局への要請交渉について紹介したい。要請内容は、1) 世界自然遺産やんばるの森における米軍廃棄物の処理状況の報告書を公開すること。2) 世界自然遺産に米軍廃棄物が存在していることを公に告知し、注意を促すこと。3) 沖縄防衛局が廃棄物処理の責任を持っているので、発見したら防衛局に通報し、対応する仕組みを確立すること、である。2)と3)については、ウェブ上での告知と同時に、遺産地内での看板の設置を提案していく。

なお、この要請交渉は地域住民や市民団体の協力を得て6月中旬までに行い、その結果をユネスコ世界遺産センターと IUCN への追

加報告文書のなかで紹介していく予定だ。

辺野古・大浦湾の海を守る

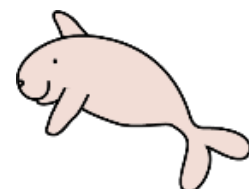
4月14日の SDCC の要請交渉では、昨年7月に辺野古新基地建設現場から南へ約2kmの場所で発見されたジュゴンの糞は重要な論点の一つだった。DNA 鑑定でジュゴンの糞と確定されたことで、ジュゴンが辺野古・大浦湾付近を回遊していることが示され、同時に、沖縄防衛局の調査体制や環境監視等委員会の見解を更に問題化できる可能性が高まったと言える。

その糞の確認を踏まえて様々な展開が生まれている。まず4月に IUCN の海牛類専門家グループに糞の確認を報告した。専門家グループのメンバーは確認できたことへの喜びと、沖縄のジュゴン保護の取り組みを国際機関として注視し、関わり続ける姿勢を示してくれた。

また糞の確認を踏まえて、東恩納琢磨さんや安部真理子さんと一緒に、沖縄県環境部との面談が5月23日に行われる。環境部のジュゴン保護対策の年次報告書の中で今回の糞の DNA 鑑定が示されたわけだが、年に一回の報告では効果的な保護対策には繋がり難い。面談では、中間報告の作成、開示の重要性を強調し、より効果的な県の保護対策への取り組みを要請していく。

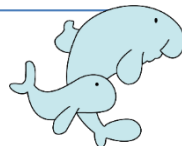
そして SDCC が今年度の取り組み事項に位置付けている、環境 DNA 調査の取り組みの議論が具体的に進行中だ。国際的な海牛類の専門家を招き、地域住民、環境 NGO が関わる形で調査とシンポジウムを行う予定をしており、5月後半にその準備会議を持つ。調査やシンポジウムを辺野古新基地建設中止の運動につなげると同時に、生物多様性条約の「昆明—モントリオール世界生物多様性枠組み」の30by30へ国際的取り組みにつなげていきたい。

(国際担当 吉川秀樹)



辺野古埋め
立て着工6年

4/25 海上アピールに参加しました



辺野古埋め立て工事着工から6年。4/25 辺野古・大浦湾海上アピールに「辺野古ぶるー HYOGO」の仲間と参加しました。25日の海上行動をメインに、22日～26日の4泊5日の行動です。

23日と24日に開催されたカヌー教室に参加。乗り込み方、降り方からはじまり、基本から練習させていただきました。教室のシメは「転覆復帰」。カヌーを転覆させ、海に自ら落ちる。カヌーを回転させてもとに戻し、海からカヌーに復帰する訓練です。海上では予期せぬ横波などで転覆はありうること。自分で復帰できるのが、海上行動参加の最低限の条件です。復帰できた時の充実感は忘れられません。

25日にはカヌー35艇、抗議船の乗船者30名で、瀬嵩の浜からK9護岸へ海上パレードしました。K9護岸付近のフロートに張り付き、横断幕を括りました。カヌーからもジュゴンのイラストと「サンゴをまもれ Hope Spot」の文字のついたバナーを立ち上げて、工事関係者と海保にむけて抗議しました。抗議船からは、様々な参加

者が「辺野古大浦湾をこれ以上壊すな！」と言アピールしました。

この日、工事は午前の上行動中から昼過ぎまで、半日止まりました。全国、世界からの参加者とマスコミの注視のなかで、露骨な工事はできなかったのだと思います。

工事の止まった大浦湾は透明で静か。まだ間に合う！ Hope Spot を海洋保護区にする国内外の世論を高め、現場とつながって工事を中止させたい。海上行動に今後ぜひ参加したいと思いました。（関西 松島洋介）



海上でバナーを広げ抗議
PHOTO:辺野古ぶるー HYOGO

報告

アースデイ東京2023に参加して



4月15日～16日に代々木公園で開催されたアースデイ東京2023に、2019以来4年ぶりに参加しました。今年のテーマは、「ファミリーアース。誰もが歓迎されるやさしい場所へ」です。「地球」で結ばれた家族＝「ファミリーアース」をコンセプトに開催されました。

しかし初日はあいにくの雨模様……。ブーステントで雨を避けながら道行く人に署名を呼びかけました。今年は、SDCC のジュゴン署名とともに、オール沖縄会議が呼びかけている「辺野古基地建設断念を求める署名」も集めました。SDCC も参加している「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」のメンバーも署名集めに参加し2日間で200筆を超える署名が集まりました。5月19日が署名締め切りなので、多くの方が署名してくださり、「辺野古に行ったことがある」「がんばってください」と会話ができました。

署名行動には、久しぶりに「着ぐるみジュゴン」が登場！ジュゴン折り紙を手渡ししながら参加者にブース宣伝をし、とても好評でした。



今年はステージでのアピール企画があり、SDCC はミニステージで「ホープスポットキャンペーン」と署名について呼びかけました。

ブースでは、スタッフ手作りのサーターアングギーやジュゴングッズを販売し、多くの方が購入してくれました。アースデイ東京の参加を通じて、多くの方と沖縄のジュゴンの現状について会話ができて、とても有意義なイベントでした。（首都圏 三村昭彦）



ジュゴンはやっぱり人気者

4 / 14 政府交渉報告

国際連帯の力を背景に



防衛省交渉では、沖縄県が発表した「昨年7月名護市久志沿岸域で発見されたジュゴンの糞」をめぐって、防衛省調査の杜撰さと、助言する環境監視等委員会の無責任さを批判しました。新基地建設工事を中止し、環境監視等委員会で「久志沿岸域でのジュゴンの糞の発見」について議論することを求めました。前回の積み残しである設計変更申請が軟弱地盤の改良であることを米国政府は了解しているのかを追及しました。昨年9月私たちが送った「書簡」を読んだリード上院軍事委員会委員長が「(軟弱地盤などの問題を詳述した)書簡に目を通して、現状の理解を努めたい」(沖縄タイムス10月20日)とコメントしていることから、了解していないことが明らかだからです。防衛省は「設計変更が軟弱地盤の為であることを米側に伝えている」としましたが、「米側が了解しているか否か」は答えませんでした。米国に伝われば政治的な問題が出てくるからです。

環境省交渉では、大浦湾を海洋保護区に認定するかを追及しました。昨年12月、生物多様性条約COP15で採択された重要な指標「2030年までに保護区として確保すべき最低ラインである30%の陸(海)域を目標にする」をふまえた政府の「生物多様性国家戦略」では「絶滅危惧種を含む5334種が確認されている大浦湾」を無視しているか

からです。「(外務省、防衛省との)利害関係を調整する」と、辺野古新基地建設を優先しています。2面の「情勢」をご覧ください。やんばるの森を真の世界自然遺産にするために、絶滅危惧種などを記載している「19年度版統合管理計画」(米軍)を世界遺産センターに提出することも求めました。環境省は「予定はない」などと躊躇しましたが、世界自然遺産申請の際に、文書「北部訓練場の自然環境保全に関する米軍との協力」を提出していると追及すると、提出を了解しました。積み残しの回答については防衛、環境両省に文書回答を求めています。(事務局 蜷川義章)



交渉には多くの仲間が駆け付けました

報告

SDCC 第23回総会を開催しました

3月26日(日)、SDCC 第23回総会をZoomで開催しました。

まず、共同代表の海勢頭豊さんから“大変厳しい状況の中、SDCCは国際的な取り組みを進めている。この一年も、自信をもって取り組んでいきましょう”と挨拶がありました。昨年体調を崩していた海勢頭代表の元気な姿に参加者一同、とてもうれしく励まされる思いでした。

国際担当の吉川秀樹さんから、昨年の国際的取り組み報告。100以上の市民団体と米国の州議会議員45名が賛同した米連邦議会議員への書簡キャンペーンやWorld Heritage Watchとの連携によるユネスコ世界遺産センターへの働きかけ、そして「市民調査 ヤンバルの森 世界自然遺産ウォッチ」の取り組みについてパワーポイントで報告がありました。

共同代表の蜷川義章さんからは、2022年度の活動報告、決算、2023年度の取り組みについて報告、提案しました。

今年は、生物多様性条約30by30(2030年までに生態系の30%を保護区に)とむすんで、日本初のHope Spotである辺野古の海を保護区に！と取り組みます。

人事は下記のように採択されました。

共同代表：海勢頭豊、蜷川義章 事務局長：三村昭彦
国際担当：吉川秀樹、会計：矢敷克子
ちゃんぶるニュース担当：松島洋介

(関西 山根富貴子)



オンラインで発言する海勢頭豊 共同代表



交流広場

辺野古実主催のデモなどで、いつも元気な声を響かせている日向さんは、2016 年 4 月に沖縄うるま市で起きた、「元軍属による性暴力殺害事件」に心を痛め、翌年から「基地・軍隊はいらない 4・29 集会実行委員会」のメンバーと共に、毎年 4 月 29 日に集会やデモなどに取り組んでいます。

沖縄・米軍人による 性暴力を許さない 4・29 スタンディング&アピール 2023

4 月 29 日、新宿駅南口前で琉球民謡を流し、街頭行動と辺野古署名活動をしました。

私たちは忘れない／性暴力を許さない／米軍犯罪に正当な裁きを／軍隊は性暴力を生む／琉球を戦場にするな、などとプラカードを掲げ、小さなカードを配りました。

カードの表紙には実行委員の一人が描いた水色の地色にたくさんの白い蝶が舞う絵を使いました。2016 年 4 月

28 日夜から翌 29 日未明にかけておきた米軍属の元米兵による性暴力殺害事件のこと、米軍による性暴力事件は米軍統治下から今日まで続いていること、そして「日本に住むわたしたちの責任」についてなど、マイクとカードでアピールしました。

1955 年の由美子ちゃん事件の犯人が、帰国して死刑を二度減刑されて仮釈放され、米国政府の建てた墓に埋葬されていたと昨年報道されました。また米国務省「人権報告書」が日本について、21 年の陸上自衛隊での性被害を 22 年に実名で訴えた女性について詳しく書く一方、21 年に沖縄で起きて 22 年に明らかになった在沖米海兵隊員による強制わいせつ事件に触れなかったと新聞で知りました。

沖縄で米兵の酒気帯び運転が増えるなか、昨年 12 月、米兵の行動や飲酒を規制するリバティ制度がまた緩和されました。沖縄への米国政府や米軍の人権軽視や差別を放置するのは日本政府であり、2016 年の事件をうけて日本政府が打ち出した「再発防止」策は形骸化や問題が指摘されて久しいのに対策の見直しは行われず、別の事件が起きているのが現状です。

基地をなくすため、米軍による性暴力をなくすため、沖縄の人たちとともに声をあげ、これからも行動していきます。
(東京都在住 日向よう子)



5/6 新宿駅南口アクションにて

毎月1回、じゅごん茶話会を続けています

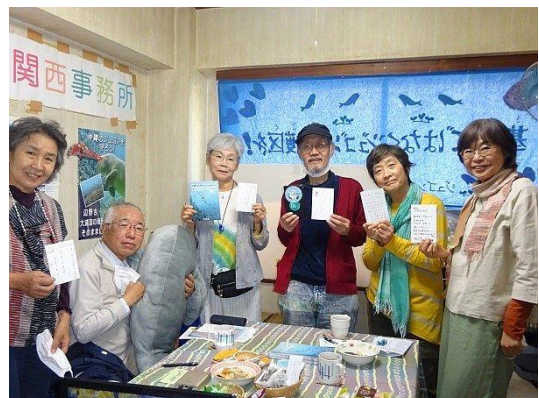
だいたい第4木曜日にひらいています。みんなの顔を見るとホッとします。小さな集まりですが、時々情報を共有し、それぞれの取り組みを紹介し、様々な問題を語り合っています。一貫したテーマは平和な世界を目指してです。

3月は、石垣島・与那国島に行ってきた O さんの報告を聴きました。与那国島での日米共同演習で戦車が住宅街を走る映像を目にして驚き、ソツとし、居ても立ってもいられず駆けつけた O さん。石垣島の「いのちと暮らしを守るオバーたちの会」のオーバーに言われた「本土の問題よ」に、何かなくてはと情報発信され、じゅごん茶話会でも話してもらいました。

4月は、3月後半に8年ぶりにアフガニスタンを訪れた RAWA と連帯する会の K さんに報告してもらいました。どうなっているのか気になっていました。米軍が去った後の混乱、再びのタリバン政権下で人々の生活は困窮し、女性は抑圧され、教育の場を奪われ、職場を追われ、国外に逃れる人も多いそうです。しかし、命の危険があっても活動を続ける仲間たちがいます。「今こそ闘うとき、国際連帯を」と力強い。

日本はというと、新たな戦前…。日本の軍事化が世界になにをもたらすのか。まだ、私たちは公に声を上げることができません。1 つでもアクションをとる首相宛に『大騒ぎハガキ』を皆で書きました！すでに危機的な状況にあると思うのに、なかなか向き合えず変わらない世の中。流されてしまわないためにじゅごん茶話会を続けています。

(関西 池側恵美子)



※じゅごん茶話会の報告は、SDCC のブログに掲載しています。

宮古島陸自ヘリ事故の怪? ～こらむ・コラム～

4月6日午後3時46分、航空自衛隊宮古島分屯基地を離陸したUH60ヘリの機影が、10分後に宮古島北西の洋上で消えるという事故発生。翌7日、防衛省は「搭乗したのは第8師団司令部5人、第8飛行隊4人、宮古警備隊1人の計10人」と報告。まるで神隠しのようなヘリ事故は連日のように報道され、全国的な関心事となった。

13日、海自掃海艦が伊良部島北側約6キロ地点で機体と乗組員らしきものを発見。16日、同地点で5人発見し、2人の死亡を確認。18日、残る3人の死亡を確認。6人目を発見し後に死亡確認。しかし乗組員4人の行方は依然不明のまま。20日、事故機に搭乗していた第8師団長と宮古警備隊長の後任人事を陸自が公表。21日、坂本雄一前第8師団長の死亡が判明したからと陸自発表。5月2日、陸自と契約した民間作業船「航洋丸」が、伊良部島北約6キロの水深約106mの海底から事故機の主要部分とフライトレコーダーを引き揚げ、回収。そのバラバラな機体を見て誰もが衝撃を受ける。すぐさま第8師団司令部のある熊本県に移送。ヘリ所属部隊の拠点高遊原分屯地で事故原因の特定に入る。

しかし首里城火災と同様、事故原因は不明とされるに違いない。そもそも琉球処分の拠点熊本から派遣された第8師団のヘリである。師団長坂本は、国家機密を守るための特命を受けて宮古島に乗り込んだと思われる。もしもその特命が国家に迷惑なジュゴンの密殺だとすると、全てにおいて辻褄が合う。伊良部島はジュゴンの目撃情報やジュゴンの糞が見つかった島。NHKが「竜宮の神を追う」内容の特番を作り話題になったばかりだ。沖縄では地上波で2度も(本土では衛星放送のみ)放送された。

飛行ルートが宮古島南東部でなく、龍宮神信仰の強い島尻、狩俣の海岸沿いを北上し、右手に大神島を見ながら池間島沖を左に旋回し、伊良部島目指して低空飛行していたことから、密殺の意図が分かる。また伊良部島北側3キロ地点で突然機影がレーダーから消えたということは、ジュゴンらしき影を見て急ぎ爆雷を数発投下したことが考えられる。ところが海と空の青に不慣れた陸自ヘリは、前後不覚となり爆雷と共に海に突っ込んだということではなかったか。でなければ、あのような壊れ方はしないものだ。

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)

①わんさか通信★ジュゴンの①わ

悲しみは消えない ～米軍人による性暴力被害を許さない～

首都圏スタッフのMさんから郵便が届いた。他の荷物と一緒にこの冊子が入っていた。

手に取り読み終わっても心臓がドキドキしていた。私はこの事件(2016年20歳の大学生が暴行のうえ殺害され遺体は雑木林に遺棄され、約20日後に発見された事件)を冊子をみる瞬間まで忘れてしまっていたのだ。

沖縄の山林に自生するテッポウユリ。この季節に白い花を咲かせる。



「怒りは限界を超えた」と6万5千人が集まって抗議した県民大会、あの時の私の怒り、熱は冷めてしまっていた、この事実がドキドキが止まらなかったんだ。

冊子の中で「忘れないということは、それを生み出さないための行動をしていくこと」という言葉がありました。この事件の後でも被害はおこり米軍基地の過重も海兵隊滞留も日米地位協定も現状何も変わっていない。

それでも忘れてはいけないんだ、声を上げ続けなくては・・・。

Mさんダメな私に思い出させてくれてありがとうございました。(沖縄 小平裕美)



INFORMATION



<全国・首都圏>

・6/11(日) 14:00~15:30 第5回ジュゴンオンラインセミナー

「辺野古埋め立てをめぐる住民の訴訟」

講師:浦島悦子さん(詳細は下記)

・6/30(金)三上智恵監督講演&上映会

18:30~ 明治学院大学白銀キャンパス本館 1301 教室

・2023ZENKO in 横須賀

2023 年 7 月 29 日~30 日

「STOP! 戦争・貧困・原発 誰もが人らしく生きられる社会を！
国際連帯で 東アジアの平和をつくる」

詳細 <https://zenko-peace.com/2023zenko>

《 今後のスケジュール 》

<関西>

・5/25 (木) 14:00~ じゅごん茶話会

SDCC 関西事務所

・6/23 (金) 18:00 開場 18:30 開会

沖縄と共に戦争に反対する 6・23 平和の集い

主催: 平和の集い実行委員会

講師: 前泊博盛さん(沖縄国際大学)

・自衛隊ミサイル配備で沖縄はどうなる 7/16 (日)

14:00~16:00 川西市商工会館多目的ホール 資料代 500 円

<沖縄>

・6/22 「月桃」歌碑 1 周年の集い(詳細は今後)



第5回ジュゴンオンラインセミナー

「辺野古埋め立てをめぐる住民の訴訟」

講師: 浦島悦子さん (1990 年より名護市在住。ヘリ基地いらない二見以北 10 区の会共同代表)

日時: 6 月 11 (日) 14:00~15:30

参加費: 500 円

配信方法: YouTube チャット機能で質問を受け付けます。

申し込み方法: info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、参加費 500 円を振込んでください。

入金確認後 YouTube の配信アドレスをお送りします。

振込先: 下記ジュゴン保護キャンペーンセンターゆうちょ口座

締め切り: 当日の視聴希望の方は、6 月 9 日 (金) までにお振込みください。

終了後一か月間アーカイブ視聴できます。



浦島悦子さん

ジュゴンの糞の DNA が特定されました。沖縄防衛局は沖縄県の要求にこたえ、ジュゴン調査を拡充するべきです。

沖縄県の DNA 解析によって、昨年 7 月に久志沿岸で見つかった「糞」がジュゴンのものであることが明らかになりました。沖縄県は、これをふまえて沖縄防衛局にジュゴンの調査拡充を要求しました。しかし防衛局に諮問する立場にある「環境監視等委員会」は、「県の調査結果を全部開示させて精査する必要がある」と調査拡充の足を引っ張っています。防衛局は「ジュゴンの鳴音を観測した際は、データ公開に応じませんでした。都合の悪いデータは隠し、足引っ張りするためには重箱の隅をついてケチをつける。「環境監視等委員会」にジュゴン保護を語る資格はありません。



「じゅごんの里ツアー」に関するお知らせ

5 月も末となり、沖縄はすでに梅雨入りをしました。本来、豊かな収穫を準備する季節である「うりずん(降り参む)」の季節。沖縄戦で多くの沖縄民衆が、泥まみれの避難の末、命を落としました。SDCC は毎年、6 月~7 月の梅雨明けごろ「ジュゴンの里ツアー」を行って来ましたが、2020~2022 年とコロナ禍ですでに 3 回中止してきました。今年は開催も考慮しましたが、まだ準備も含め問題が大きいと考え中止とさせていただきます。来年はぜひ開催したいと思います。

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.128 2023 年 5 月 30 日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

(首都圏事務所) 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-38

大曲マンション 201 号 なかま共同事務所内

(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町 2-9-21 京橋ベース 302 号

連絡は以下のメールにて受け付けております。

○ URL <http://www.sdcc.jp/>

○ E-MAIL info@sdcc.jp

会費(2000 円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 〇一九支店

口座番号 普通 0660199



SDCC の website

<http://www.sdcc.jp/>

には、左記 QR コードよりアクセスできます

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費 2000 円で年 6 回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!